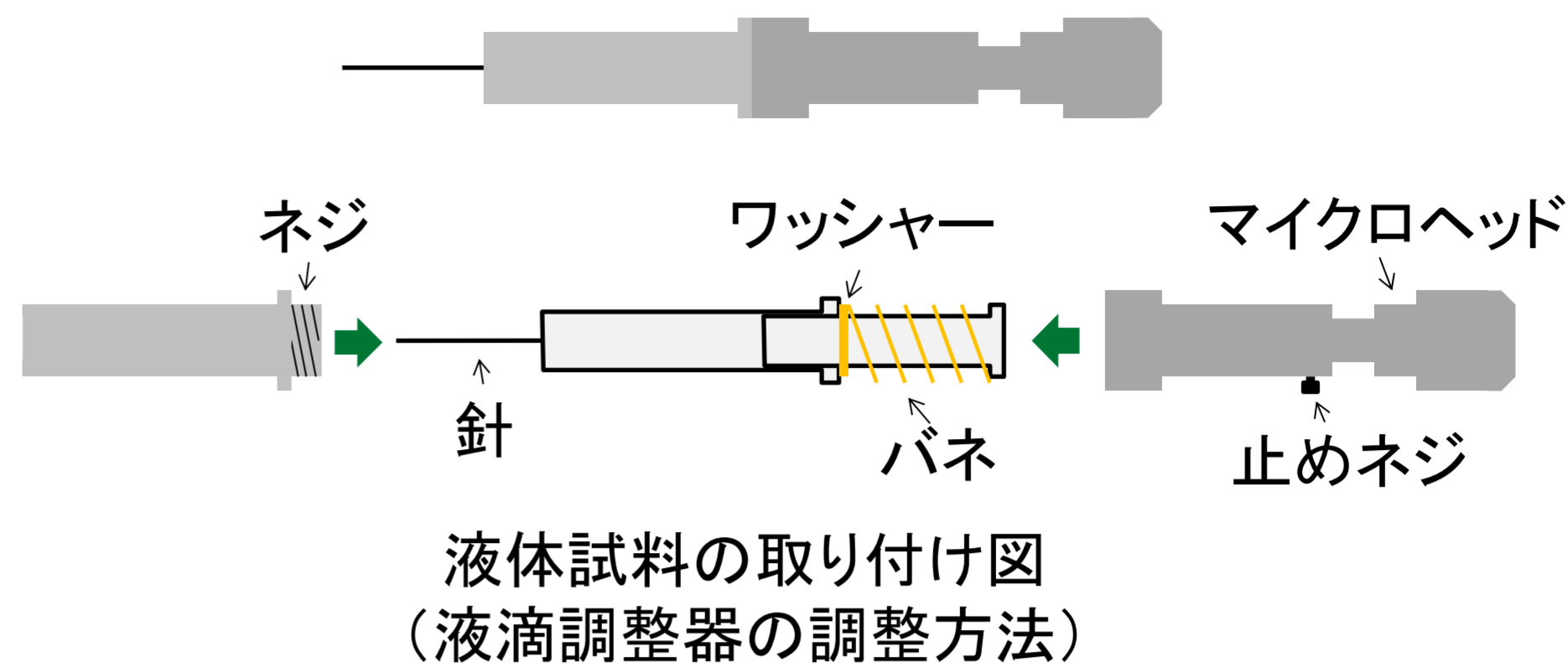


接触角計 操作方法

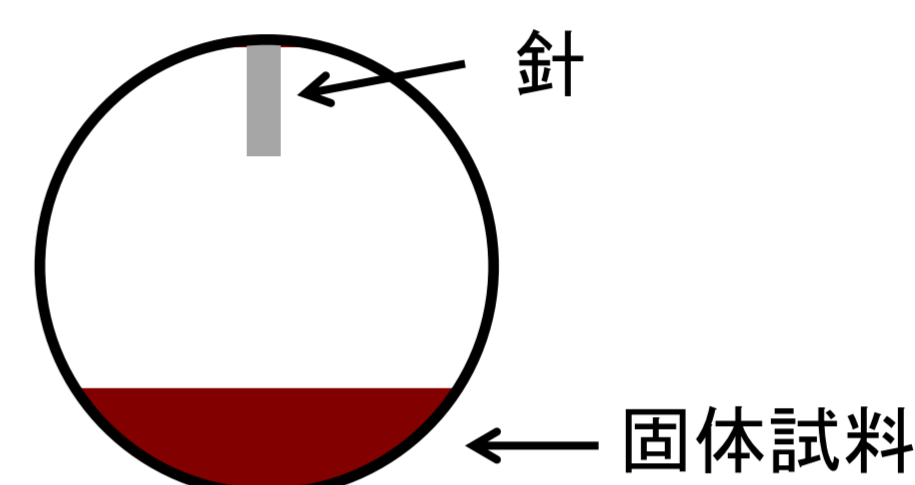
1. 測定準備

①光学鏡をのぞき、見やすい明るさになるように光量を調整する。

②液滴調整器に試料を入れ、光学鏡をのぞき、針の先端が視野の中央に少し出るようにネジで調整して固定する。

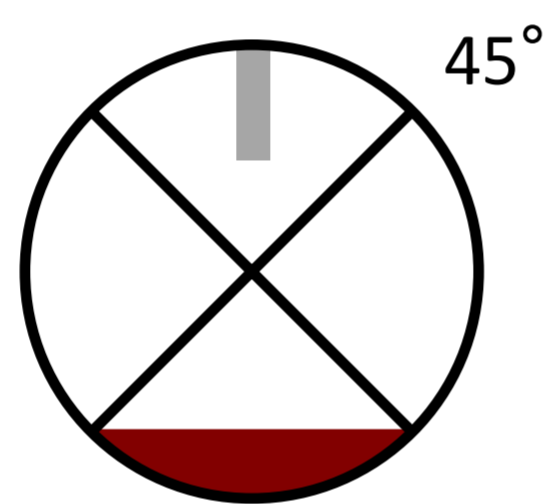


③試料台に試料を載せ、光学鏡をのぞき、針と試料面が見えるようにする。

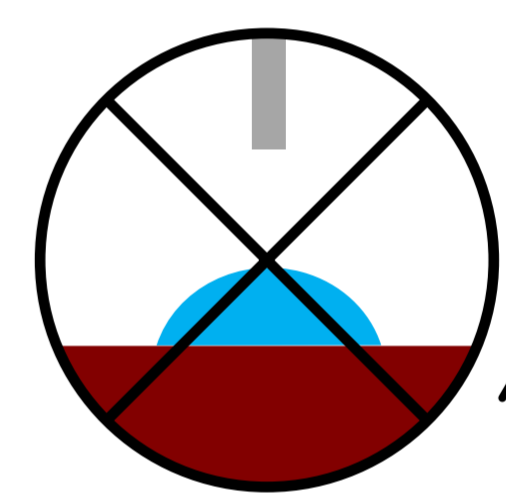


2. 測定方法

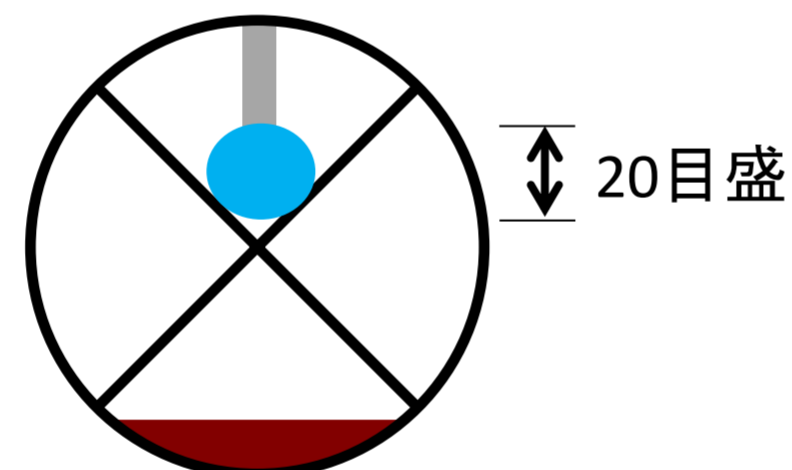
①回転リングを45°に合わせる。



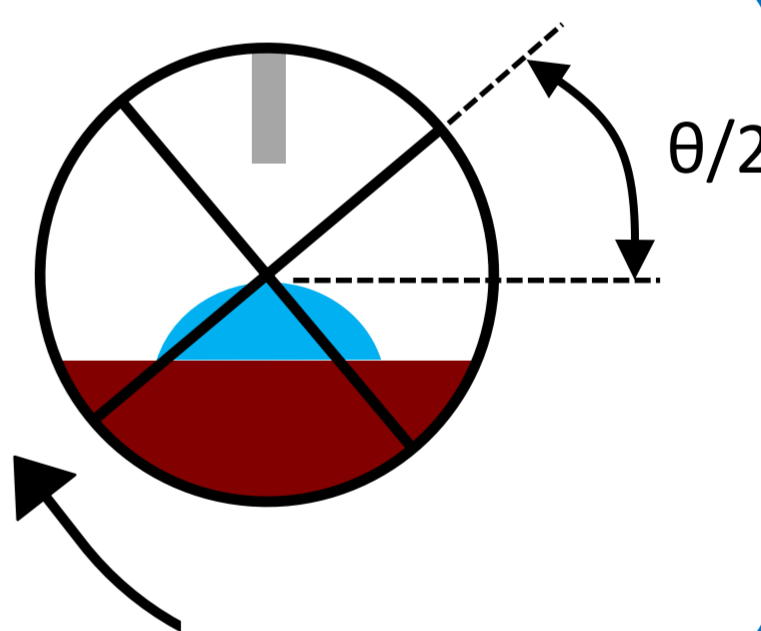
⑤固体試料面を上昇させて、回転リングクロス線の交点と液滴頂点を合わせる。



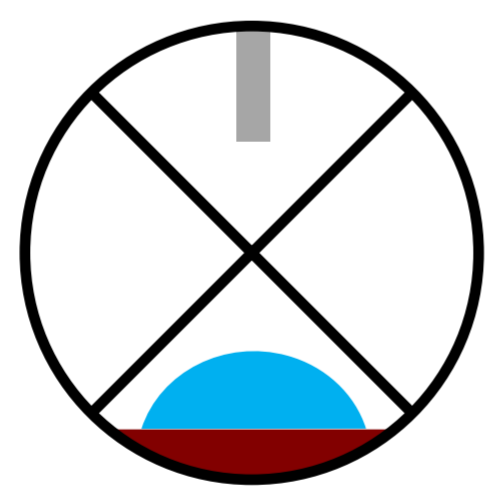
②マイクロヘッドを回して、針先に20目盛の液滴をつくる。



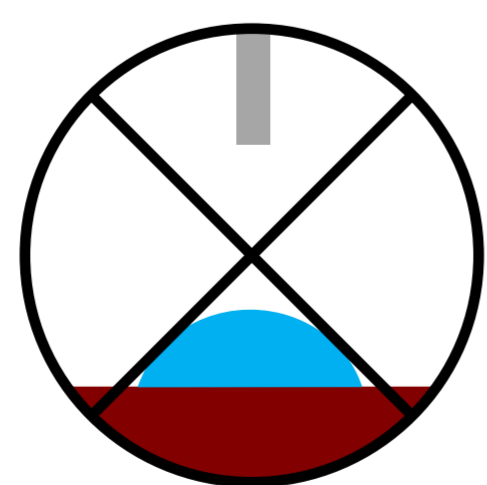
⑥回転リングを回し、液滴左側と固体試料面との接点と液滴頂点を回転リングを回して結ぶ。このときの角度を計る。



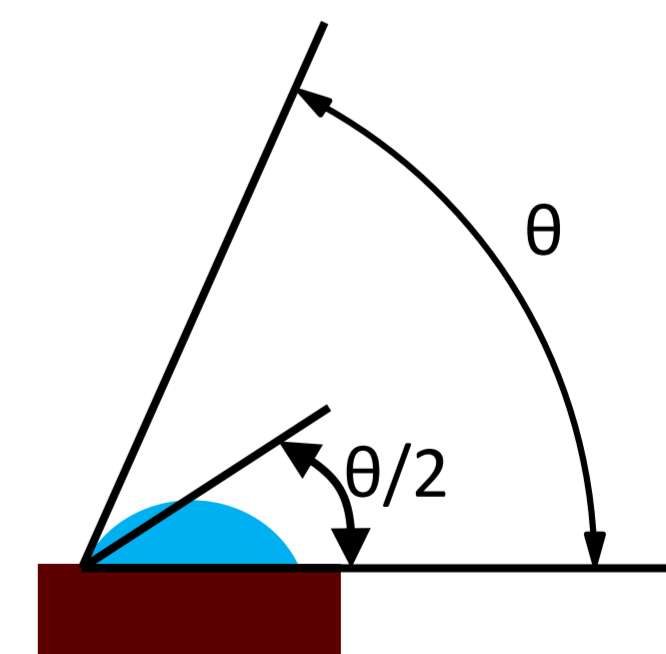
③固体試料表面を上昇させて液滴に接触させ、個体試料面を降下させ液滴を試料面移す。



④液滴の面と回転リングのクロス線が接するように(左右対称にする)試料面を調整する。



⑦この計った角度の2倍が接触角になる。



※液量は多すぎると、液滴が自重でつぶれて測定誤差の要因となり、少なすぎると蒸発・揮散の影響が大きくなります。そのため、液滴を針から出した後から測定までの時間は自ら設定して、同一条件になるよう測定することが望ましい。